

### 令和4年度 第5回地域協議会が開催されました【令和4年12月20日(火)19:00~】 新型コロナウイルス感染対策を講じ実施しました

#### ■「大塚地域まちづくりビジョン」の検証作業について

地域の課題である「各団体の高齢化、会員の減少、特定の人への負担集中、役員不足、後継者不足等々」を踏まえ、今回から、大塚地域まちづくり推進委員会や大塚地域の各団体が実施している事業、取り組みを分野別に見ていき、類似事業の統合もしくは共催化はできないかなどについて、フリートークします。

今回は、「サロン分野」において、まち推、社協、自治会がそれぞれで以下の関連事業・取組を行っているが、統合もしくは共催化はできないか？について、フリートークしました。



分野	部会・団体	事業名・取組	目的・内容
サ ロ ン 関 連	まち推 (福祉部会)	ふれあいサロン事業	子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所づくりを行い、三世代交流や地域住民同士の交流を図ることを目的とし、上・中・南区、宝塚、りんどうヶ丘の各自治会の行事に相乗りする形で、サロンを開催し、習字、折り紙、餅つき、グラウンドゴルフ、昔遊びなどを行う。
		生活支援事業	当初は、多様な困りごとの解決を図ることを事業目的としていたが、現在は居場所づくりを目的とし、上・中・南区、宝塚自治公民館、江南集会所の5箇所ですトレッチ、軽体操、おしゃべり、大塚音頭等を行う。
	社会福祉協議会	小規模サロン事業	個人宅、おおつかの杜ふれあいセンター「ひびき」、南区自治公民館、江南集会所、大淀台児童公園、大塚公民館で10サロンが行われ、座談・レクリエーション、手芸、体操、ゲーム、お茶会、カラオケ、麻雀、卓球などを行う。
	社会福祉協議会 (総合企画部会)	ふれあい会食会	みんなで楽しくおしゃべりをしながら会食したり、簡単な体操やゲームなどの余興を楽しむ。
	自治会	自治会行事	餅つき大会、十五夜祭りなど



#### フリートークで出された意見の一部

- ◆ サロン関連の事業は、結構メンバーが同じで重複している方がおられるのではないかと、活動して思う。
- ◆ みんなで一度集まって話をしたら連携が取れるのではないかと。同じような、重複している所があるのもつたいない。
- ◆ 同じようなサロン事業をやっているのであれば、一緒にすることによって、委員さんたちの負担もいくらか軽減されるのではないかと。
- ◆ 目的は、細かく言えば、違うのかも知れないが、内容を工夫すれば一緒に出来なくはないと思う。
- ◆ 団体の横の繋がりについても考えているが、助成金の活用の仕方も、社協・まち推では違うと思うので、その辺の難しさもあると思うが、少しでもスリム化できるのであれば、スリム化することによって、横の繋がりも出てくるのではないかと感じている。
- ◆ おそらく色々な事業がそれぞれに、地域の中で特徴があるような気がする。統合してしまうと、事業の件数が少なくなるという心配がある。
- ◆ いろいろ意見が出ているように、事業をする人たちの負担が大きかったり、重複していつも出なくてはならないと言う人たちもおられると思うので、もっと、輪を広げるためには、どうしたらいいのかわからないが、やはりPTAやコミュニティスクールとかを絡み合わせながら、再構築していく必要があるのかなと思う。
- ◆ 各事業の内容を、まず皆で勉強してから、どうするかまとめた方が良いのかなと思う。

# 令和4年度 第6回地域協議会が開催されました【令和5年2月21日(火)19:00~】 新型コロナウイルス感染対策を講じ実施しました

## ■令和5年度地域コミュニティ活動交付金の配分額について

令和5年度の大塚地域への配分額が、423万7千円（前年度より1万5千円減）となったことの報告が地域事務所からありました。この活動交付金を活用して、まちづくりビジョン（大塚地域の将来像）を実現するために、まちづくり推進委員会が様々な事業を展開します。



## ■地域の課題に係る意見交換会について

令和2～3年度の地域協議会で、「地域協議会の構成団体が抱える課題」（共通課題ベスト3⇐①会員の減少・高齢化②連携③後継者不足）について、フリートーク形式で対応策（アイデア）を出し合い、まとめとして「自分たちで出来る対応策」と「事務所主動でやってほしい対応策」とにすみ分けを行いました。その後、「事務所主動でやって欲しい対応策」を実現するために、令和4年度に地域事務所が動いた結果報告がありました。

報告① 地域の課題「自治会加入者の減少」についての意見交換会の開催	
開催時期	令和5年7月もしくは8月（各会長を通じて日程調整）
参加団体	大塚地区自治会連合会、大塚小・江南小・大塚中の各PTA、江南小校区子ども会育成連絡協議会、祭り大塚振興会
報告② 地域の課題「会員の減少・成り手不足」についての意見交換会の開催	
開催時期	令和5年8月（各会長を通じて日程調整）
参加団体	さんさんクラブ大塚地区連合会、大塚地区民生委員・児童委員協議会、大塚地区福祉協力員協議会、大塚地区社会福祉協議会、大塚地区自治会連合会
報告③ 地域と学校の更なる連携を図るための「合同情報交換会」の開催	
開催時期	令和5年6月（各会長を通じて日程調整）
参加団体	大塚小・江南小・大塚中の各PTA（地域部、地区部、地域連携部など地域との連携を図る部会の役員も）、地域事務所（地域協議会事務局）、まちづくり推進委員会事務局

## ■令和5年度地域コミュニティ活動交付金事業申請及び意見書について

まちづくり推進委員会から、新年度事業として、以下の7事業が提案され、事業実施に際しての意見を付して、全事業承認されました。

事業名	事業への意見
1 見守り活動事業 （15年目） 事業費 95,000円	引き続き、学校や警察、青色防犯パトロール等の関係団体との連携を密にして、更なる地域の安全確保を図っていただきたい。
2 水流川クリーンアップ事業 （13年目） 事業費 480,000円	引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識の向上を図っていただきたい。また、「江南小学校の環境学習サポート」は、先生も熱心に取り組んでおられ、学校と地域が連携した素晴らしい内容になっているので、モデル事業として大塚地域外にも積極的に広報し、多くの人たちに知っていただきたい。
3 ダンボールコンポスト事業 （12年目） 事業費 120,000円	ダンボールコンポストは地域にかなり普及し、生ごみの減量化が図られているので、引き続き、環境についての意識が向上するよう推進していただきたい。
4 ペットマナー向上事業 （9年目） 事業費 80,000円	引き続き、ペット飼育者のマナーの向上と地域住民同士の絆づくりを図っていただきたい。
5 大塚音頭普及促進事業 （11年目） 事業費 63,000円	地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただくよう積極的に広報して、指導の機会を増やし、大塚音頭の普及を図ってほしい。また、スポーツレクリエーション部会と大塚音頭保存会の密なる連携を図りながら、事業を展開してほしい。
6 江南小学校地区体育祭共催事業 （13年目） 事業費 713,000円	校区内住民の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図り、子ども達の「ふるさとづくり」となるようお願いしたい。
7 まちづくり充実事業 （10年目） 事業費 1,720,000円	フェイスブックによる部会活動やイベント等の情報発信、広報が開始されているので、まちづくりの更なる充実・飛躍を期待したい。ただ、著作権やプライバシーの侵害等のトラブルが発生しないように、十分留意していただきたい。

## ■「大塚地域まちづくりビジョン」の検証作業について

今回は、時間の関係で、フリートークは出来ませんでした。



発行：宮崎市地域振興部 地域コミュニティ課 大塚地域事務所  
TEL:54-2222 住所：宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296-3(大塚中学校となり)  
FAX:64-0270 メールアドレス：07otuka-c@city.miyazaki.miyazaki.jp

